

事務事業チェックシート

事務事業No 385 事業名 発明創作事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	1	豊かな心を育む教育の推進
取組方針	2	郷土を愛するふるさと教育の推進

事業種別	継続		
事業期間	平成21年	～	永年
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	学校教育課	東 康修	435-1139
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	こども科学館費		
	大事業	こども科学館事業		
	中事業	発明創作事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 子供たちや市民の方々にものづくりを通じて、つくる楽しさ等を感じてもらい、創造性豊かな人材育成やものづくりへの関心や興味の普及を図ることを目的とした事業					全体事業概要 ・日常生活の改善に役立つものや工夫、アイデアの詰まった作品を募集し、市民の発明や工夫に対する関心を喚起するため、市民発明くふうコンクールを実施。 ・夏休みに、子供創作教室を開催し、ものづくりを通じ、ものづくりへの関心や興味の普及を図るために、作品をつくり完成させる。 ・親子でペットボトルロケットを作成し、実際に打上げ距離などを競う親子ペットボトルロケット工作・打上大会を開催する。 ・子供たちにもものづくりの現場を見学してもらい、ものづくりに対する楽しさや興味の普及を図るため、企業見学バスツアーを開催する。 ・子供たちに年間さまざまな作品づくりに挑戦させることで、創造性豊かな人材の育成を目指して活動している「少年少女発明クラブ」に対して補助金を交付。				
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
市民発明くふうコンクール 出品：309点(294人) 出品者年齢：6才～86才 少年少女発明クラブ 補助金交付額：250,000円 実施回数：18回/年 クラブ員：60人 子供創作教室 参加者：100人 (造花・電気・科学・木工・革工作) 実施回数(計)：13回/年 ペットボトルロケット工作打上大会 参加者：23人(応募者55)		市民発明くふうコンクール 少年少女発明クラブ 補助金交付 子供創作教室 (造花・電気・木工・革工作) ペットボトルロケット工作打上大会 企業見学バスツアー	市民発明くふうコンクール 少年少女発明クラブ 補助金交付 子供創作教室 (造花・電気・木工・革工作) ペットボトルロケット工作打上大会 企業見学バスツアー	市民発明くふうコンクール 少年少女発明クラブ 補助金交付 子供創作教室 (科学・造花・電気・木工・革工作) ペットボトルロケット工作打上大会 企業見学バスツアー						

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	11,486	11,041	11,967	11,558	11,869	11,433	12,116		12,116	
伸び率(%)	-	-	4.2%	4.7%	▲0.8%	▲1.1%	2.1%	▲100.0%		0.0%
人件費	正規職員	714	714	1,071	776	1,071	814	814	814	814
	正規職員以外	1,671	1,671	1,578	584	1,578	766	766	766	766
	小計	2,385	2,385	2,649	1,360	2,649	1,580	1,580		1,580
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	1,457	1,346	1,485	1,528	1,456	1,325	1,451		1,451	
一般財源(税等)	10,029	9,695	10,482	10,030	10,413	10,108	10,665		10,665	
所要人数(人)	正規職員	0.10	0.10	0.14	0.10	0.14	0.1	0.1	0.1	0.1
	正規職員以外	0.47	0.47	0.42	0.27	0.42	0.29	0.29		0.29
主な予算内訳	委託料11,692千円、消耗品費70千円等(平成30年度当初予算)									

3 目標及び実績

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標 発明創作事業の参加者数	人	目標値	340	340	478	500
		実績値	478	513	524	
		達成度(%)	140.6%	150.9%	109.6%	
成果指標 ものづくりへの関心・意欲を高めることができたと判断できる事業参加者に対するアンケート結果。満足およびやや満足と回答した割合。	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	94	91	87.6	
		達成度(%)	94.0%	91.0%	87.6%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>発明くふうコンクールやペットボトルロケット工作打上大会、子供創作教室等を行う当事業は「ものづくり、科学」に関わる教育的な意義があり、継続して行うことが大切である。また参加希望者は増加傾向にある。子供創作教室においては、造花、電気、木工、皮工作、科学等の分野における専門的な技能を持つ講師（嘱託）に依頼することによって、より高度な「ものづくり教育、科学教育」が実施できている。</p>
見直し・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29年度の親子ペットボトルロケット工作・打上大会時では、運営人員が不足していたので、和歌山大学の学習支援員活動制度を利用して運営の補助員として、学生11人を派遣していただいた。今後もこの制度を利用する方針である。 ・ 実施する子供創作教室においても、学生ボランティアが必要である場合は、和歌山大学の学習支援員活動制度を利用する。